

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7
災害に強い県土づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

河川課長 星野 充孝

電話番号

0852-22-5195

事務事業の名称	海岸侵食対策事業	
目的	(1) 対象	海岸周辺住民
	(2) 意図	侵食や越波被害を軽減させ、周辺住民の安全で快適な暮らしを確保する
事業概要	和木波子海岸のうち延長約1.8kmについて、侵食や越波被害を軽減するため、人工リーフの新設、嵩上げ、養浜工を整備する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	和木波子海岸における要防護区域面積	目標値		4.1	2.5	0.8	0.0	ha
	式・定義	要防護区域面積(5.7ha)-侵食対策済延長×防護区域幅	取組目標値						
			実績値	5.7	4.1	2.5			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	90,206	126,517
うち一般財源(千円)	3,003	6,658

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

和木波子海岸における真島より西側約800mのうち約250mについて、人工リーフの完成と養浜工の一部が完了している。
和木波子海岸における真島より東側約1kmについては、1年で2m以上もの海岸侵食が進んでおり、早急な対策が必要。応急対策として修繕工事を継続的に実施している。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

真島より西側約250mの人工リーフの背後の養浜工は、サンドリサイクルとして石見海浜公園の堆積砂を有効利用するなどコスト縮減を図り、平成30年度中には完成する見込みとなった。
真島より東側約1kmについては、応急対策として修繕工事を継続するとともに、段階施工を取り入れることによって平成30年度から交付金事業に新規着手することとなった。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

完成までには長期を要することから、この間の侵食の進行が懸念される。

②困っている状況が発生している「原因」

大規模事業のため、多額な費用を要する。

③原因を解消するための「課題」

多額となる予算の確保。
効果的な事業の執行。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

国からの交付金を増やすための国への働きかけや、大規模事業に関する県予算確保のための枠組み作りなどの検討が必要。事業進捗にあわせた継続的なモニタリングにより、効果的、効率的な事業執行を進め、早期完成に努める。